

C25NAME	選管届出通称氏名		
コード		ケース数	%
	記述	295	100.00
C25DISTRICT	選挙区		
コード		ケース数	%
	記述	295	100.00
C25PARTY	政党		
コード		ケース数	%
	記述	295	100.00
C25INCUMBENT	現職		
コード		ケース数	%
	1 現職	108	36.61
	2 元職	8	2.71
	3 新人	179	60.68
	計	295	100.00
C25TERM	当選回数 (選挙前)		
コード		ケース数	%
	実数記入	295	100.00
C25AGE	年齢		
コード		ケース数	%
	実数記入	295	100.00
C25GENDER	性別		
コード		ケース数	%
	1 男性	196	66.44
	2 女性	99	33.56
	計	295	100.00
C25VOTE	得票数		
コード		ケース数	%
	実数記入	295	100.00
	NA 無投票当選	0	0.00
	計	295	100.00
C25ELECTED	投票結果		
コード		ケース数	%
	0 落選	168	56.95
	1 当選	127	43.05
	計	295	100.00
C25RES	回答		
コード		ケース数	%
	0 無	160	54.24
	1 有	135	45.76
	計	295	100.00

&lt;以下は回答者のみ(n=135)&gt;

Q1	小池百合子知事による都政運営に対する全般的な評価について、どちらの考えに近いでしょうか。		
<b>C25GOV</b>	<b>都知事評価</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	1 Bまったく評価できない	38	28.15
	2 どちらかといえばBに近い	27	20.00
	3 どちらともいえない	8	5.93
	4 どちらかといえばAに近い	24	17.78
	5 A高く評価できる	38	28.15
	計	135	100.00
Q2	東京都のオーバーツーリズム対策について、どちらの考えに近いですか。		
<b>C25Q02</b>	<b>オーバーツーリズム</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	1 B過剰なので、緩和するべきだ	1	0.74
	2 どちらかといえばBに近い	3	2.22
	3 現状を維持するべきだ	14	10.37
	4 どちらかといえばAに近い	79	58.52
	5 A不十分なので、強化するべきだ	38	28.15
	計	135	100.00
Q3	東京都による男性の育児休業取得促進に関する政策について、どちらの考えに近いですか。		
<b>C25Q03</b>	<b>男性育児休業</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	1 B過剰なので、抑制するべきだ	0	0.00
	2 どちらかといえばBに近い	0	0.00
	3 現状を維持するべきだ	8	5.93
	4 どちらかといえばAに近い	58	42.96
	5 A不十分なので、推進するべきだ	69	51.11
	計	135	100.00
Q4	東京都による子育て支援政策について、どちらの考えに近いですか。		
<b>C25Q04</b>	<b>子育て支援政策</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	1 B過剰なので、抑制するべきだ	0	0.00
	2 どちらかといえばBに近い	0	0.00
	3 現状を維持するべきだ	17	12.59
	4 どちらかといえばAに近い	89	65.93
	5 A不十分なので、推進するべきだ	29	21.48
	計	135	100.00
Q5	現在、東京都の宿泊税は以下のとおりです。今後どのようにしていくべきか、考えに近いものをお選びください。 東京都宿泊税（1人1泊あたりの宿泊料金） ・1万円未満：非課税 ・1万円以上1万5千円未満：100円 ・1万5千円以上：200円		
<b>C25Q05</b>	<b>宿泊税</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	1 B課税額を引き下げるべきだ	27	20.00
	2 ややBに近い	2	1.48
	3 現状を維持するべきだ	20	14.81
	4 ややAに近い	31	22.96
	5 A課税額を引き上げるべきだ	55	40.74
	計	135	100.00

Q6 東京都による物価高騰対策について、どちらの考えに近いですか。

C25Q06

物価高騰対策

コード

	ケース数	%
1 B過剰であり、抑制するべきだ	0	0.00
2 ややBに近い	0	0.00
3 現状を維持するべきだ	5	3.70
4 ややAに近い	44	32.59
5 A不十分であり、推進するべきだ	86	63.70
計	135	100.00

Q7

東京都は、本年3月に都の長期戦略として「2050東京戦略」を策定し、「東京の未来をつくる3つのシティ」として以下を掲げています。3つの戦略について、それぞれどの程度優先して取り組むべきか、3つの合計が10になるように選択してください。

<3つのシティ>

- ・ダイバーシティ：誰もが将来の夢や希望を叶え、もっと一人ひとりが輝く東京へ
- ・スマートシティ：東京のポテンシャルを磨き上げ、もっと活力溢れる東京へ
- ・セーフシティ：強靱で持続可能な都市を創造し、もっと安全・安心な東京へ

C25Q07A

ダイバーシティ

コード

	ケース数	%
0 優先度低	0	0.00
1	3	2.22
2	15	11.11
3	42	31.11
4	34	25.19
5	38	28.15
6	2	1.48
7	1	0.74
8	0	0.00
9	0	0.00
10 優先度高	0	0.00
計	135	100.00

C25Q07B

スマートシティ

コード

	ケース数	%
0 優先度低	3	2.22
1	2	1.48
2	62	45.93
3	49	36.30
4	12	8.89
5	6	4.44
6	1	0.74
7	0	0.00
8	0	0.00
9	0	0.00
10 優先度高	0	0.00
計	135	100.00

C25Q07C

セーフシティ

コード

	ケース数	%
0 優先度低	1	0.74
1	1	0.74
2	4	2.96

3		63	46.67
4		47	34.81
5		16	11.85
6		0	0.00
7		1	0.74
8		2	1.48
9		0	0.00
10	優先度高	0	0.00
計		135	100.00
Q8	東京都による高齢者福祉政策について、どちらの考えに近いですか。		
C25Q08	<b>高齢者福祉</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	B過剰であり、抑制するべきだ	2	1.48
2	ややBに近い	2	1.48
3	現状を維持するべきだ	22	16.30
4	ややAに近い	58	42.96
5	A不十分であり、推進するべきだ	51	37.78
計		135	100.00
Q9	石破総理を本部長とする「新しい地方経済・生活環境創生本部」が策定した「地方創生2.0」では、地方への移住や企業移転などの推進によって、東京への一極集中を是正することが盛り込まれています。あなたの考えに近いのは、どれでしょうか。		
C25Q09	<b>地方創生</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	B人、モノ、カネ、情報などはむしろ東京一極に集中させるべきだ	6	4.44
2	ややBに近い	18	13.33
3	現状を維持するべきだ	44	32.59
4	ややAに近い	55	40.74
5	A東京への一極集中の是正は、強力に推し進めるべきだ	12	8.89
計		135	100.00
Q10	東京の放置自転車対策について、考えが近いのはどちらですか。		
C25Q10	<b>放置自転車</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	B過剰であり、抑制するべきだ	0	0.00
2	ややBに近い	1	0.74
3	現状を維持するべきだ	40	29.63
4	ややAに近い	47	34.81
5	A不十分であり、推進するべきだ	47	34.81
計		135	100.00
Q11	東京都は、保護者等の所得に制限なく、高校の授業料を年間最大で484,000円まで助成しています。また、生計維持者が都内に在住している場合、所得に制限なく都立大学の授業料を全額免除しています。あなた		
C25Q11	<b>教育助成</b>		
<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	B現在の支援策は過剰であり、助成額を減額したり、助成対象を制限したりするべきだ	2	1.48
2	ややBに近い	11	8.15
3	現状を維持するべきだ	26	19.26
4	ややAに近い	41	30.37
5	A入学金などに対しても助成をおこなったり、助成額を増額したりして、支援を拡充するべきだ	55	40.74

計

135

100.00